

施策評価シート

施策コード	3301	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
施策名	地域防災力の充実	所属名 総務部防災調整監 危機管理課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○大規模化・複雑化する災害や新たな危機に対して迅速、的確に対応するため、危機管理体制の充実・強化が求められています。</p> <p>○地区防災マップの作成や避難行動要支援者支援体制の整備など、地域住民が主体となった防災に対する取組みが不可欠です。</p> <p>○防災行政無線や消防団設備などの計画的で効率的な配備・更新が課題となる中、高度化する設備や多元的に発信される災害時情報を利用する市民の対応力、防災意識のさらなる高揚が求められています。</p> <p>○危険地域からの住宅移転、市有建築物の耐震診断・改修の促進など、防災の視点に立ったまちづくりが求められています。</p>
めざす方向	新たな危機やあらゆる災害から市民を守るため、危機管理体制・防災体制を充実するとともに、「自助」「共助」「公助」が有機的に機能する災害に強いまちをめざします。
達成するための対策・手段	<p>①市民の災害対応力の向上</p> <p>②防災設備の計画的配備、更新</p> <p>③業務継続計画（BCP）策定事業等危機管理体制の強化</p> <p>④災害に強いまちづくりの推進</p> <p>⑤国民保護計画の推進</p> <p>⑥防災拠点機能の充実</p>

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

成果指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	実績	目標達成率	目標	実績
1	自主防災会組織率	%	目標	95.6	96.6	96.5	96.5	100
			実績	97.2	97.7	95.2	95.4	0
			目標達成率	102%	101%	99%	99%	
(指標の説明) 市内自治会数に対する自主防災会組織数の割合。(基準値は平成22年度)								
2	防災リーダー、防災指導員数	人	目標	29	38	46	54	62
			実績	36	34	33	40	0
			目標達成率	124%	89%	72%	74%	
(指標の説明) 防災リーダー、防災指導員の人数。全地域での配置をめざす。(基準値は平成22年度)								
3	住宅、民間特定建築物の耐震化率	%	目標	81	83	85	87	90
			実績	78.9	80	81.2	82	0
			目標達成率	97%	96%	96%	94%	
(指標の説明) 耐震性基準を満たした住宅や民間特定建築物(病院、百貨店、ホテルなど多くの人が利用する一定規模以上の建築物)の割合。(基準値は平成19年度)								

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	957,461	1,037,602	1,435,562	1,201,597	0

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	あらゆる災害の対応には地域の力(共助)が大切です。今年度も、自主防災組織や地域の防災リーダー育成、防災指導員の確保、指導に取り組んできました。年々関心は高まってきてはいますが、災害時の市民の対応力や地域の防災意識の向上に向け、より一層取り組みを進める必要があります。また、災害に対して迅速、的確に対応するために、実践的な危機管理体制の充実(関係機関との連携・強化)を図っていききたいと思います。
---------------------------------------	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	頻発する災害、多様化する被害から市民を守るために、引き続き防災体制の充実を図るとともに、「災害対策基本法」の改正や「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の制定の趣旨を踏まえながら、耐震化などハード面の整備、避難対策といったソフト面の構築など、より一層地域の総合的な防災力の向上に努めます。

事務事業評価シート

事務事業コード	001410	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	自主防災会関係事業		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成 8年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	災害対策基本法
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	直営
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
	住宅、民間特定建築物の耐震化率		78%	90%		
予算	予算事業名	自主防災会関係費		予算事業コード	01-02-01-11-07-12	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内自主防災会
意図 (どのような状態にするために)	災害時の被害軽減に必要な「自助」「共助」「公助」のうちの、「共助」の中心となる自主防災会の機能を強化することにより地域防災力の向上を図る。
手段 (どうするのか)	市が指定する研修の修了者等を防災リーダーに登録し、また防災リーダーのうち地区公民館単位に地区防災指導員を任命。自主防災活動の中心的役割を担う防災リーダー、地区指導員を養成し、住民自らによる地域防災力の向上を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・防災指導員(防災リーダー)養成研修 ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣	平成24年度 ・防災指導員(防災リーダー)養成研修 ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣	平成25年度 ・防災指導員(防災リーダー)養成研修 ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣	平成26年度 ・防災指導員(防災リーダー)養成研修 ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣	平成27年度 ・防災指導員(防災リーダー)養成研修 ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣	
	年度別実績	・防災指導員(防災リーダー)養成研修1回実施(防災リーダー64人登録、防災指導員16人委嘱) ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 延べ0回	・防災指導員(防災リーダー)養成研修1回実施(防災リーダー新規44人登録、防災指導員延べ34人委嘱) ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 延べ6回	・防災指導員(防災リーダー)養成研修1回実施(防災リーダー241人登録、防災指導員33人委嘱) ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 延べ10回	・防災指導員(防災リーダー)養成研修1回実施(防災リーダー294人登録、防災指導員40人委嘱) ・自主防災会訓練、研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 延べ10回		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,622	1,593	1,613	1,530	0	
	直接経費 A	531	850	884	778	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	92	147	291	296	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	439	703	593	482	0		
人件費 B	1,091	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	地区防災指導員	人	目標	30	40	50	55	62	
				実績	35	34	33	40	0	
	(指標の説明) 地区公民館単位に配置し、地域の防災活動の中心的役割を担う地区防災指導員の数									
	2	防災リーダー	人	目標	123	153	210	225	240	
				実績	157	201	241	294	0	
	(指標の説明) 地域の自主防災活動を行うため、所定の研修を修了した者を防災リーダーとして登録した人数									
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係 0857-20-3127</p> <p>【9次総の施策体系】 3301</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 地区公民館を単位として、地域の防災事情に詳しい者を防災指導員として養成・登録。危機管理課に配置した防災コーディネーターと連携して、自主防災会などによる地域の「自助」「共助」の取り組みを支援するなど、地域の実情に応じたきめ細やかな防災対策を推進することにより地域防災力の向上を図る。</p> <p>【事業の成果】 平成27年3月現在 防災指導員 40名 防災リーダー登録者 294名 防災リーダー新規登録者 53名</p> <p>①防災リーダー養成研修の開催 7月27日、8月10日、8月31日</p> <p>②防災指導員研修 5月14日</p> <p>③自主防災会訓練・研修への防災指導員(防災リーダー)の派遣 防災指導員(防災リーダー)を危機管理課の防災コーディネーターの依頼により自主防災会の訓練・研修に積極的に派遣した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、各地区の自主防災会と連携を密にし、防災リーダーの育成に努め、各地区公民館単位に1名の防災指導員の配置を目標とする。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 地区防災指導員	117%	85%	66%	73%	
	2 防災リーダー	128%	128%	115%	131%	
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	防災上の「共助」を担う中心的な人材を育成し、地域防災力の向上を図ることは市の責務である。防災指導員を全地区に配置し、地域の自主防災活動の活性化を図る。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	防災指導員・防災リーダーの育成により地域の防災活動が活性化すると考えられるが、登録・任命後のフォローに力を入れる必要がある。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	任命・登録された防災指導員・防災リーダーの活用には一層の取り組みが必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	地域防災は、一人でやるものではなく、地域住民が一体となって行うものであるが、効果的に行うためにリーダーとなる人材が不可欠であり、リーダー育成が鳥取市全体の防災力の向上につながる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	引き続き、防災指導員・防災リーダーの育成に努め、各地区公民館単位に1名の防災指導員の配置を目標とする。また、任命・登録した防災指導員・防災リーダーの活動を活性化させる取り組みを行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001402	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	総合防災対策事業		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	災害対策基本法
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	直営
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
	住宅、民間特定建築物の耐震化率		78%	90%		
予算	予算事業名	総合防災対策事業費			予算事業コード	01-02-01-11-07-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の安全確保のための総合的な防災対策整備
意図 (どのような状態にするために)	「自助」「共助」「公助」それぞれを有効かつ連携して機能させ、災害を未然に防ぎ、また発生時の被害を最小限とする。
手段 (どうするのか)	市民に配布する防災マップの作成やFM鳥取の緊急割込み放送等による防災情報提供の充実と、自主防災会自らが作成する防災マップの作成支援等「共助」の充実による地域防災力向上。また、BCP策定や事業所の協定による「公助」の体制整備。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・防災マップの見直し ・地域防災計画改訂・地区防災マップ作成支援・FM鳥取緊急割込み等による防災情報伝達・職員参集システム整備・他都市、事業所等との災害時応援協定	平成24年度 ・防災マップの作成・BCP策定・地区防災マップ作成支援・FM鳥取緊急割込み等による防災情報伝達・職員参集システム・他都市、事業所等との災害時応援協定	平成25年度 ・地域防災計画改訂・地区防災マップ作成支援・BCP策定・FM鳥取緊急割込み等による防災情報伝達・職員参集システム・他都市、事業所等との災害時応援協定	平成26年度 ・地域防災計画改訂・地区防災マップ作成支援・BCP策定・FM鳥取緊急割込み等による防災情報伝達・職員参集システム・他都市、事業所等との災害時応援協定	平成27年度 ・地域防災計画改訂・地区防災マップ作成支援・BCP策定・FM鳥取緊急割込み等による防災情報伝達・職員参集システム・他都市、事業所等との災害時応援協定	
	年度別実績	防災マップ作成業務に着手、地域防災計画を変更、職員参集システムを導入、地区防災マップ作成地区、新規災害応援協定8件	防災マップ作成及び全戸配布、地区防災マップ印刷6地区、職員参集システム運用開始、新規災害応援協定17件	防災ハンドブック作成及び全戸配布、地区防災マップ印刷6地区、職員参集システム運用、とっとり地域防災メール運用開始、新規災害応援協定等7件	地域防災計画改定、地区防災マップ印刷4地区、職員参集システム運用、とっとり地域防災メール運用開始、新規災害応援協定等8件		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,590	26,399	14,271	12,976	0	
	直接経費 A	2,594	17,488	5,529	3,950	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,506	4,041	872	370	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	1,088	13,447	4,657	3,580	0
人件費 B	8,996	8,911	8,742	9,026	0		
職員数の内訳	正規職員	1.20	1.20	1.20	1.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	地区防災マップ作成	単位	地区	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績				19	27	35	40	45			
	(指標の説明) 地区公民館単位で住民自らが作成する防災マップの作成地区数												
	2	目標	0	0	0	0	0						
		実績	0	0	0	0	0						
	(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0							
	実績	0	0	0	0	0							
(指標の説明)													

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 危機対策係・消防防災係 0857-20-3127. 20-3118</p> <p>【9次総の施策体系】 3301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 1 (防 0 0 1)</p> <p>【事業の概要】 災害を未然に防ぎ、発生時の被害を最小限に食い止めるため、総合的に防災体制を整備する。また、住民に対する防災意識の啓発と防災情報の提供を強化していく。 ① 住民への防災情報伝達 災害時における住民への情報伝達手段について、多種多様な方法により情報の発信を行う。 ② 総合防災マップの活用 総合防災マップを活用し、防災意識・防災体制の強化を図る。 ③ 災害時応援協定都市との交流 平常時において相互応援協定締結都市と情報の共有を行い、災害時の連携強化を図る。</p> <p>【事業の成果】 ・地区防災マップ印刷費助成(4地区) ・職員参集システム、とっとり地域ぼうさいメール配信システム、被災者支援システムの運用 ・災害時応援協定都市との連携強化</p> <p>【今後の課題・方向性】 より効果的に災害対応が行えるように、随時手段等を見直していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	地区防災マップ作成	79%	78%	77%	78%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	住民の生命・財産を守るとは行政の責務であり、防災意識の啓発や防災情報の提供の充実等によって、災害時における被害の軽減が図られる。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	多様な情報伝達手段により、より多くの住民に防災情報の伝達が行えるとともに、地区防災マップの作成支援を通じた住民の防災意識の高揚が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	多様な情報伝達手段により、広く住民に防災情報の提供が行える。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	多様な情報伝達手段により、広く住民に防災情報の伝達が可能となっている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	今後も効果的な防災情報伝達手段を用いて、より迅速に、より多くの住民に防災情報が伝達できるように努めていく。また、住民自らが作成する地区防災マップのような効果的な防災意識の啓発を行っていく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001448	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	消防ポンプ車購入・格納庫整備事業(格納庫建設事業)		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	その他
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	直営
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	消防ポンプ車格納庫建設事業費		予算事業コード	01-08-01-03-02-05	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市消防団の消防ポンプ車格納庫
意図 (どのような状態にするために)	老朽化し、また消防団員の待機室を備えていないなど設備が不十分な消防ポンプ車格納庫を防災拠点として必要な施設とするため
手段 (どうするのか)	消防ポンプ車格納庫を建設する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 用瀬分団消防ポンプ格納庫1棟改築	平成24年度 松保分団消防ポンプ格納庫1棟建設	平成25年度 消防ポンプ格納庫1棟建設	平成26年度 消防ポンプ格納庫1棟建設	平成27年度 消防ポンプ格納庫1棟建設	
	年度別実績	用瀬分団消防ポンプ格納庫1棟改築(H24～繰越)	用瀬分団消防ポンプ格納庫1棟改築(用瀬支所車庫の一部改修) 松保分団消防ポンプ格納庫1棟建設	東郷分団消防ポンプ車格納庫建設用地の旧東郷地区公民館解体(新築工事はH26～繰越)。	東郷分団消防ポンプ車格納庫1棟建設。鹿野第2分団消防ポンプ車格納庫1棟建設(鹿野の新築工事はH27～繰越)。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,435	27,007	13,197	44,762	0	
	直接経費 A	1,310	25,893	12,104	43,634	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	600	24,800	11,800	39,300	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	710	1,093	304	4,334	0
人件費 B	1,125	1,114	1,093	1,128	0		
職員数の内訳	正規職員	0.15	0.15	0.15	0.15	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	消防ポンプ車格納庫建設数	単位	棟	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		目標	1	1	1	1	1					
	実績	0	2	0	1	0						
	(指標の説明) 建替又は改築等により整備した消防ポンプ車格納庫の棟数											
	2	目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)												
3	目標	0	0	0	0	0						
	実績	0	0	0	0	0						
(指標の説明)												

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 消防防災係 0857-20-3118</p> <p>【9次総の政策体系】 3301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P8 (防005)</p> <p>【事業の概要】 消防ポンプ車格納庫の中には、建設から50年近く経過して老朽化した施設、また、狭小で新型の消防ポンプ車が格納できず、団員の待機室もない施設がある。今後の消防ポンプ車の更新に備えるとともに待機室を併設して団員の活動を円滑にし、火災・災害の防除、被害の軽減を図ることができる。</p> <p>【事業の成果】 ・鹿野第2分団消防格納庫建設に伴う設計</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度末時点の消防ポンプ車格納庫の総数は51棟で、建設から50年以上経過した格納庫は2棟、待機室のない格納庫は9棟ある。建設年次、待機室の有無、消防ポンプ車の更新計画を勘案し、計画的に建替えを行うとともに、適切な管理運営を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	消防ポンプ車格納庫建設数		200%		100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	消防ポンプ車格納庫及び待機室の整備により、消防団活動の充実が図られている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	消防ポンプ車格納庫及び待機室の整備により、消防団活動の充実が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	老朽化した消防ポンプ車格納庫の新築により、消防団活動の充実が図られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	計画的に消防ポンプ車格納庫及び待機室を整備することにより、消防団活動の充実が図られている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	建設年次等を勘案して計画的に建て替えを行うとともに、適切な管理運営を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001449	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	消防ポンプ車購入・格納庫整備事業(消防ポンプ車購入費)		所属名	総務部防災調整監 危機管理課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	直営
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
	住宅、民間特定建築物の耐震化率		78%	90%		
予算	予算事業名	消防ポンプ車購入費		予算事業コード	01-08-01-03-03-03	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市消防団に配備する消防ポンプ車
意図 (どのような状態にするために)	老朽化した消防ポンプ車を更新し、火災をはじめとした消防団の災害対応に万全を期す
手段 (どうするのか)	消防ポンプ車を計画的に更新する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 消防ポンプ車の購入	平成24年度 消防ポンプ車の購入	平成25年度 消防ポンプ車及び小型ポンプの購入	平成26年度 消防ポンプ車及び小型ポンプの購入	平成27年度 消防ポンプ車及び小型ポンプの購入	
	年度別実績	消防ポンプ車1台(稲葉分団)の購入	消防ポンプ車1台(大正分団)の購入	消防ポンプ車1台(神戸分団)の購入 小型ポンプ1台(倉田分団)の購入	消防ポンプ車2台(福部本部分団、神戸分団)の購入 小型ポンプ1台(津ノ井分団)の購入		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	18,521	18,573	20,394	43,206	0	
	直接経費 A	18,146	18,202	20,030	42,830	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	16,800	0
		地方債	0	17,200	18,900	21,900	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	18,146	1,002	1,130	4,130	0
人件費 B	375	371	364	376	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		消防車更新台数	台	目標	1	1	1	1	1	
			実績	1	1	2	3	0		
	(指標の説明) 更新した消防車の台数									
	2		目標	0	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標	0	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 消防防災係 0857-20-3118</p> <p>【9次総の政策体系】 3301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 23 (防006) 6月補正予算・P 8 (防006)</p> <p>【事業の概要】 本市消防団の消防ポンプの中には、配備から20年以上経過して老朽化し、修繕が困難になっているものがある。迅速・適切な消火活動ができるよう、消防ポンプを計画的に更新し、操作性及び消火能力を向上させ、火災による被害の軽減を図る。</p> <p>【事業の成果】 ・消防ポンプ車の更新：福部本部分団（平成4年度購入）、鳥取東郷分団（平成5年度購入） ・可搬消防ポンプの更新：鳥取津ノ井分団（平成4年度購入）</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成26年度末時点の消防ポンプ自動車及び可搬消防ポンプ積載車の総数は53台で、購入から20年経過したポンプ車は14台、積載車は5台ある。 また、可搬消防ポンプの総数は38台で、購入から20年経過した可搬ポンプは18台ある。 購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理運用を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	消防車更新台数	100%	100%	200%	300%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	消防ポンプ車等の更新により、消防力の強化が図られている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	消防ポンプ車等の更新により、消防力の強化が図られている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	消防ポンプ車等の更新により、消防力の強化が図られている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	計画的なポンプ車等の更新により、機動的な消防団活動の充実が図られている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	購入年度や出動形態を勘案して、計画的に消防ポンプを更新するとともに、適切な管理運用を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001424	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地方道路整備事業		所属名	都市整備部 道路課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	道路法
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	直営
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地方道路整備交付金事業費(道路課)		予算事業コード	01-07-02-03-05-02	
		住宅、民間特定建築物の耐震化率		78%	90%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市道
意図 (どのような状態にするために)	市民生活の利便性の向上を図ること及び交通の安全を確保することとともに、震災時の緊急輸送路等を考慮した道路整備を行うため
手段 (どうするのか)	市道舗装の修繕や狭隘道路等の拡幅等改良を実施する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 ・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備	平成24年度 ・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備	平成25年度 ・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備	平成26年度 ・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備	平成27年度 ・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備	
	年度別実績	・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備	・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備	・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備	・道路新設・改良 ・道路舗装工事 ・拡幅工事 ・側溝整備		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	497,348	396,298	923,791	681,438	0	
	直接経費 A	448,617	351,742	880,081	636,306	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	251,058	152,628	548,252	274,167	0
		地方債	184,050	186,600	298,200	251,500	0
		その他	0	0	0	89,700	0
		一般財源	13,509	12,514	33,629	20,939	0
人件費 B	48,731	44,556	43,710	45,132	0		
職員数の内訳	正規職員	6.50	6.00	6.00	6.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		修繕路線数	路線	目標	40	40	40	40	40
	(指標の説明)		実績	37	21	37	39	0	
2				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)			実績	0	0	0	0	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、20-3263、20-3254</p> <p>【9次総の施策体系】4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P249(都038)、6月補正・P45(都027) 9月補正・P33(都005)</p> <p>【事業の概要】 日常生活の基盤となる市道の新設、拡幅改良事業により、生活道路の整備、危険箇所の解消、交通の安全確保を図り、また、山陰道整備に伴う市道整備も推進し、市民生活の利便性の向上を図る。また、鳥取駅周辺整備は、人が集う魅力的な環境に再生し、駅前周辺はもとより街なか再生の起爆剤となることを目指す。</p> <p>【事業の成果】 (1) 社会資本整備総合交付金事業(交付率55%) 桂木杉崎線ほか31路線 (2) 社会資本整備総合交付金事業(交付率50%) 河原工業団地幹線道路 (3) 道整備交付金事業(交付率50%) 美敷線 (4) 地域の元気臨時交付金事業 東品治富安1号線ほか1路線 (5) 鳥取駅周辺整備に伴う推進業務ほか2路線 (翌年度繰越額 237,560千円 桂木杉崎線ほか15路線)</p> <p>【今後の課題・方向性】 交付金等を活用し道路整備を推進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	修繕路線数	93%	53%	93%	98%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民生活の利便性の向上を図ること及び交通の安全を確保することともに、震災時の緊急輸送路等を考慮した道路整備を行うことが可能なため
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民生活の利便性の向上を図ること及び交通の安全を確保することともに、震災時の緊急輸送路等を考慮した道路整備を行うことが可能なため
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	交付金等を活用し道路整備を推進することが可能なため
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	道路整備は、公道という性質上すでに公平であるため

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	維持管理を行う市道の延長および道路施設等の増加に加え、市民の意見を聴く窓口の拡充により、市民ニーズは多様化し、地区要望の件数は年々増加している。社会資本整備総合交付金を効率的に活用するとともに、道路の状態的的確な把握に努め、危険が予想される箇所などの優先順位付けにより年次計画的に実施していく。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001433	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	治水対策事業		所属名	都市整備部	都市環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	災害対策基本法等
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種類別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	直営
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	治水対策事業費		予算事業コード	01-07-03-01-11-01	
		住宅、民間特定建築物の耐震化率		78%	90%	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	洪水時、宅地の浸水被害を生じている区域
意図 (どのような状態にするために)	浸水被害の軽減を図る
手段 (どうするのか)	浸水の要因となっている河川の改良及び内水被害軽減のためのポンプ場の整備、維持

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 奥沢見川改良事業 江川改良事業 枝川改良事業 洗井川改良事業 赤子田地区浸水対策事業 既設ポンプ場の操作・点検	平成24年度 奥沢見川改良事業 江川改良事業 枝川改良事業 洗井川改良事業 赤子田地区浸水対策事業 既設ポンプ場の操作・点検	平成25年度 洗井川改良事業 椎ノ木谷川改良事業 赤子田地区浸水対策事業 既設ポンプ場の操作・点検	平成26年度 椎ノ木谷川改良事業 赤子田地区浸水対策事業 谷田川改良事業 用瀬町瀬戸川改良事業 既設ポンプ場の操作・点検	平成27年度 谷田川改良事業 用瀬町瀬戸川改良事業 大塚地区浸水対策事業 既設ポンプ場の操作・点検	
	年度別実績	奥沢見川改良事業 江川改良事業 枝川改良事業 洗井川改良事業 赤子田地区浸水対策事業 既設ポンプ場の操作・点検	奥沢見川改良事業 江川改良事業 枝川改良事業 洗井川改良事業 赤子田地区浸水対策事業 既設ポンプ場の操作・点検	洗井川改良事業 椎ノ木谷川改良事業 赤子田地区浸水対策事業 既設ポンプ場の操作・点検	既設ポンプ場の操作・点検		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	48,884	109,028	61,079	31,293	0	
	直接経費 A	48,884	106,800	53,794	31,293	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	1,038	432	792	417	0
		地方債	32,800	95,300	40,800	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源		15,046	11,068	12,202	30,876	0	
人件費 B	0	2,228	7,285	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.30	1.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	宅地浸水解消戸数	単位	戸	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
					実績	0	0	6	0	3	
	(指標の説明) 治水事業により浸水被害を解消することができた宅地戸数(平成26年度修正)										
2	冠水解消箇所数	箇所	目標	0	0	0	0	0	1		
			実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明) 治水事業により冠水被害を解消することができた箇所数(平成26年度追加)											
3			目標	0	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)											

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 河川係 0857-20-3256</p> <p>【9次総の施策体系】 4102</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P57(都015)、12月補正予算・P33(都001)</p> <p>【事業の概要】 台風等の集中豪雨により、低い土地では雨水を河川等へ自然排出することが出来ないため、排水ポンプにより排水を行い、家屋等の浸水・冠水の軽減を図る。</p> <p>【事業の成果】 鳥取・河原・青谷地区において、浸水が想定される箇所へ排水ポンプを設置する。 ・緊急排水ポンプ業務委託等 8,166千円 ・ポンプ場修繕 1,777千円 ・事務費(光熱水費等) 3,638千円 (翌年度繰越金 7,200千円 塩見川流域内水解析業務)</p> <p>【今後の課題・方向性】 内水処理対策による浸水防止を行い、住民の安全の確保を図るため、継続して事業に取り組む必要がある。 来年度大塚地区浸水対策により浸水個数3戸の解消並びに冠水箇所の解消を図って行きたい。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	宅地浸水解消戸数	0%	0%	0%	0%	
	2	冠水解消箇所数	0%	0%	0%	0%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	安心、安全対策において浸水戸数の削減は市の責務である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	浸水被害を最小限に抑えることができ事業が有効であった。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	緊急排水ポンプの対応並びに浚渫などを効果的に行っている。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	安心な地域づくりにおいて浸水地区への対策は必要な事業である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	治水対策により、浸水、冠水被害の軽減を図り、住民の安全を確保する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001421	重点事業区分	リープロ2	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業		所属名	都市整備部 建築指導課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	①鳥取市震災に強いまちづくり促進事業補助金交付要綱 ②鳥取市耐震改修促進計画
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	補助金交付
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
住宅、民間特定建築物の耐震化率			78%	90%		
予算	予算事業名	住宅・建築物耐震診断・改修支援事業費			予算事業コード	01-07-01-02-17-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	昭和56年5月31日以前に建築(旧耐震)された戸建て住宅、一般建築物要緊急安全確認大規模建築物の所有者
意図 (どのような状態にするために)	耐震診断、補強設計、耐震改修を実施し市民の安全性を確保するとともに震災に強いまちづくりとする。
手段 (どうするのか)	戸建て住宅については、無料診断のPRを行い、耐震化の必要性を認識していただき、改修のための補助金の交付。また、一般建築物の所有者に対しても耐震化の必要性を認識していただき、耐震診断を行う者に対して補助金を交付する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		予算の範囲内で実施する。 予算額:14,484千円 ①耐震診断:60件 ②補強設計:20件 ③耐震改修:2件 ④地域学習会:1地区	予算の範囲内で実施する。 ①耐震診断 ②補強設計 ③耐震改修 ④地域学習会	予算の範囲内で実施する。 ①耐震診断 ②補強設計 ③耐震改修 ④地域学習会	予算の範囲内で実施する。 ①耐震診断:50件 ②補強設計:20件 ③耐震改修:5件 ④地域学習会:1件	予算の範囲内で実施する。 ①耐震診断:40件 ②補強設計:20件 ③耐震改修:5件 ④地域学習会:1件	
年度別実績	実績額:14,712千円 ①耐震診断:76件 ②補強設計:10件 ③耐震改修:3件 ④地域学習会:0地区	実績額:16,237千円 ①耐震診断:44件 ②補強設計:32件 ③耐震改修:5件 ④地域学習会:0地区	実績額:17,371千円 ①耐震診断:31件 ②補強設計:11件 ③耐震改修:10件 ④地区学習会:0件	実績額:25,529千円 ①耐震診断:30件 ②補強設計:15件 ③耐震改修:4件 ④地域学習会:1件			
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
事業費	事業費(A+B)	21,943	19,950	21,059	30,088	0	
	直接経費 A	18,194	16,237	17,416	25,575	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	13,677	12,174	13,021	18,428	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,517	4,063	4,395	7,147	0		
人件費 B	3,749	3,713	3,643	4,513	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.60	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	耐震化率	%	目標 81	83
	(指標の説明) 耐震化基準を満たした住宅や民間特定建築物の割合		実績 79	80	81.2	81.2	0	
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 建築指導係 0857-20-3282</p> <p>【9次総の施策体系】 3301</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 2 1 1 (都0 4 5)</p> <p>【事業の概要】 震災による被害から市民の生命・財産を保護し、安心安全な生活環境の保全のため、国の交付金と県の補助事業を活用して耐震診断、補強設計、耐震改修を行う建築物の所有者に対して助成を行う。 ①助成対象者 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建て住宅及びその建築物の所有者 ②事業内容 耐震診断：一戸建て住宅、一般建築物、補強設計：一戸建て住宅 耐震改修：一戸建て住宅</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="0"> <tr> <td>耐震診断</td> <td>補強設計</td> <td>耐震改修</td> </tr> <tr> <td>H23：76件</td> <td>H23：11件</td> <td>H23：3件</td> </tr> <tr> <td>H24：44件</td> <td>H24：32件</td> <td>H24：5件</td> </tr> <tr> <td>H25：31件</td> <td>H25：11件</td> <td>H25：10件</td> </tr> <tr> <td>H26：36件</td> <td>H26：15件</td> <td>H26：4件</td> </tr> </table> <p>耐震診断、補強設計、耐震改修を実施して市民の安全性の確保を行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 耐震化事業の必要性をPRしながら、国の交付金や県の補助金を活用して耐震化率の向上を図る。</p>	耐震診断	補強設計	耐震改修	H23：76件	H23：11件	H23：3件	H24：44件	H24：32件	H24：5件	H25：31件	H25：11件	H25：10件	H26：36件	H26：15件	H26：4件
	耐震診断	補強設計	耐震改修													
H23：76件	H23：11件	H23：3件														
H24：44件	H24：32件	H24：5件														
H25：31件	H25：11件	H25：10件														
H26：36件	H26：15件	H26：4件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	耐震化率	98%	96%	96%	93%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	震災による被害から、市民の生命財産を保護し、生活環境の保全に役立てるため、建築物の耐震化を継続的に取り組む必要がある。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	鳥取市耐震改修促進計画に基づき、目標達成に向けた取り組みを継続的に進めている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	国の交付金と県の補助金制度を活用して事業を進めているところであり、継続的に国、県の制度を有効に活用していく。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取市震災に強いまちづくり促進事業補助金交付要綱に基づいて、申請書に対して補助金を交付しているため公平性は保たれている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	建物の耐震化に対する市民への啓発等を実施して、耐震化事業を促進するためにも耐震診断・改修に係る事業の予算措置を行う。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001417	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	国民保護訓練		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	直営
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
	住宅、民間特定建築物の耐震化率		78%	90%		
予算	予算事業名	国民保護訓練費		予算事業コード	01-02-01-11-27-02	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	大規模なテロ（緊急対処事態）や有事（武力攻撃事態）が発生した時に市内にいる全ての人の
意図 (どのような状態にするために)	大規模なテロや武力攻撃から市内にいる全ての人の生命、身体、財産を保護する。
手段 (どうするのか)	鳥取市国民保護計画及び細部計画（マニュアル）に基づく国民保護訓練を実施し、有事の際の行動について住民に周知するとともに、訓練結果を検証し、市国民保護計画や市が行う国民保護措置をより実効的なものとする。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練)の実施	・国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練)の実施	・国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練)の実施	・国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練)の実施	・国民保護訓練(実動訓練及び図上訓練)の実施	
	年度別実績	H23. 11. 12 末恒地区で実働訓練を実施	H24. 11. 11豊実地区で実働訓練を実施	H25. 10. 28国府町で実働訓練を実施	H26. 11. 23鹿野町で実働訓練を実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,443	2,435	2,346	2,389	0	
	直接経費 A	194	207	160	132	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	73	74	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	194	207	87	58	0
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	国民保護訓練の実施	回	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	1	1	1	0
	(指標の説明) 有事の避難のため、住民の参加を得て実施する国民保護訓練の実施回数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 消防防災係 0857-20-3118</p> <p>【9次総の施策体系】 3301</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 鳥取市国民保護計画に基づく細部計画（マニュアル）の見直し及びそれらを根拠とした市単独の図上訓練並びに実動訓練の実施する。</p> <p>【事業の成果】 鹿野町地内（内陸部）において、自衛隊・警察・消防等及び地域住民と連携した訓練を実施した。</p> <p>【今後の課題・方向性】 地区を変えながら訓練を実施することで、住民の国民保護に関する理解を深めるとともに、継続的に訓練を実施することで、実効性のあるものとする。 ・情報伝達訓練（県・総合支所との実施訓練） ・避難行動要支援者の避難訓練（観光客等一時滞在者の避難訓練） ・現地調整所運営訓練（事前に図上訓練の実施）</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	国民保護訓練の実施	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	住民の生命財産を守ることは行政の責務であり、訓練の実施により有事が発生した場合における被害の軽減を図る。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	多くの地域で訓練を実施することで、有事における住民の意識高揚が図られる。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	行政の責務で実施することにより、災害・有事の際の初動体制の確保につながる。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	すべての地域で訓練することを目標に、毎年継続して実施する。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	毎年、国民保護訓練を実施していくものとする。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001415	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	防災備蓄事業費		所属名	総務部防災調整監 危機管理課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	笑顔があふれ 心やすらぐまちづくり		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	03	互いに協力し、くらしの安全を守る		根拠法令、根拠計画等	県及び市町村の備蓄に関する連携体制整備要領
施策	3301	地域防災力の充実				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	自主防災会組織率		97%	100%	運営方法	直営
	防災リーダー、防災指導員数		36人	62人	会計区分	一般会計
住宅、民間特定建築物の耐震化率		78%	90%			
予算	予算事業名	防災備蓄事業費		予算事業コード	01-02-01-11-18-01	

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	災害時に必要となる物資
意図 (どのような状態にするために)	災害時に必要となる物資の備蓄の確保と県内市町村等との相互支援体制の充実
手段 (どうするのか)	備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害時に速やかに物資が供給できる体制を確保する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理及び更新	災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理及び更新	災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理及び更新	災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理及び更新	災害時に必要となる備蓄品(乾パン、アルファ化米等)の管理及び更新	
	年度別実績	乾パン13, 184食 / 13, 640食、アルファ化米6, 374食 / 5, 446食、粉乳32缶 / 35缶、保存水8, 940リットル / 18, 586リットル	乾パン13, 248食、アルファ化米6, 500食、粉乳42缶、保存水7, 734リットル	乾パン10, 624食、アルファ化米6, 450食、粉乳34缶、保存水13, 139リットル	乾パン6, 016食、アルファ化米200食、チューブミルク800袋、簡易トイレ(凝固剤)400セット、乾電池 単1・2, 536本、単3・720本		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,746	2,282	3,305	2,855	0	
	直接経費 A	996	1,539	2,576	2,103	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	143	204	508	371	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	853	1,335	2,068	1,732	0
人件費 B	750	743	729	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	連携備蓄品の割合	%	目標	0	0	91.6	95	100
			実績	13184	0	92.2	80.9	0	
	(指標の説明) 県及び県内市町村が共同して備蓄している品目のうち、鳥取市が備蓄する品目の基準数量に対する備蓄割合								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】企画係 0857-20-3127</p> <p>【9次総の施策体系】3301</p> <p>【予算計上の経過】なし</p> <p>【事業の概要】 県及び県内市町村が災害時に必要となる物資の品目、数量を定めた県及び市町村の備蓄に関する連携体制整備要領を基本として、県内市町村が共同して備蓄し、災害時には被害のない市町村から被災した市町村に物資を供給する相互救援体制をとることにより、備蓄する量を抑えることができる。</p> <p>【事業の成果】 市町村連携備品のうち、保管期限が到来する備品等を更新した。 平成26年度購入 ・アルファ米 200食(4箱×50) ・乾パン 6,016食(47×64×2缶) ・チューブミルク 800袋(16袋×50箱) ・簡易トイレ(凝固剤) 400セット(100個×40) ・乾電池 単1 2,536本(2本×1,268) 単3 720本(4本×180)</p> <p>【今後の課題・方向性】 備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害時に速やかに物資が供給できる体制を確保する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	連携備蓄品の割合			101%	85%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	災害時に必要となる物資の確保と県内市町村等との相互支援体制の充実が図られている。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	災害時に必要となる物資の確保が図られているが、保管場所についてはさらなる検討が必要である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	災害時に必要となる物資の確保が図られているが、保管場所についてはさらなる検討が必要である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	災害時に必要となる物資の確保と県内市町村等との相互支援体制の充実が図られている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	備蓄品の数量、使用期限等を適切に管理し、災害時に速やかに物資が供給できる体制を確保する。	